

TPDS NEWS



※ TPDS = Tokyo Plastic Dental Society = (一社) 東京形成歯科研究会

Vol.61

配信日：2023年8月3日

配信元：(一社) 東京形成歯科研究会 事務局

医療タイムス 記事紹介

“不幸中の幸い ～あと10秒遅ければ・・・～”

相談役・理事 北村 豊 先生

当会の相談役・理事 北村豊先生からご提供いただいた記事をご紹介します。

記事の内容につきましては、別紙^{*}(Emailの場合:別添)(Faxの場合:本状含め2枚目)の通りでございます。

※ 別紙 出展元: 医療タイムス 2023年(令和5年)7月20日(木曜日) 発行

事務局より

会員の先生方から情報提供いただければ、その都度、施設長に相談して、「TPDS NEWS」にて配信させていただいております(施設長より)。従来は、歯科・医科に関する内容を配信しておりましたが、北村先生のご指導もあり、「TPDS NEWS」を会員・関係各位の交流の場(ツール)として活用していただくことを目的に、配信する内容(企画)の幅を拡大することと致しました。お気軽に「TPDS NEWS」の材料(ネタ)を事務局まで(下記)ご提供いただけると幸いです。ご検討の程、何卒宜しく願い申し上げます。※反社会的内容等の場合は、配信を断念する場合がございます。予めご了承願います。

〒114-0002 東京都北区王子 2-26-2 ウェルネスオクデラビルズ 3F

一般社団法人東京形成歯科研究会 事務局

Email: okudera@carrot.ocn.ne.jp

TEL:03-3919-5111/FAX:03-3919-5114

不幸中の幸い —あと10秒遅ければ—

北村 豊



年で創立90年を迎えた歴史ある新生病院に、私が20年以上も前に勤務していた時のことである。

“ドスン”という振動を伴う音は、突然に手術室にも伝わって、窓のない医療現場は一瞬にしてただの暗室と化してしまった。

その数秒後の暗闇から聞こえてきたのは、看護師さんの「あれ！どうしたの？」という早口で緊張に満ちた第一声であった。

その落雷事故は、信州の小布施町にある昨

全身麻酔下での手術を計画し、正に術野の切開をしようとする直前にその停電事故は、起こったのであった。起動するはずの病院の自家用発電装置がなぜ発動しないのか？と不思議に思いながらも、麻酔医と相談の上、その日の手術は中止とした。

し、短時間ではあったが全身麻酔中の意識が欠落し、自分で術野直上になるはずであった頬”を手で押さえても、症状が無いのを不思議そうにされたため、麻酔中の落雷で突然の停電が起こり、復電の予測が立たなかつたため、切開直前までいつていた手術を中止したことを伝えたところ、安堵の表情をされたことにほっとしたものである。

20cm位もある地面が樹枝状の形で隆起して走っている珍しい現象が見られた。調べてみると、落雷（直撃雷）を受けた場所より周囲に極めて強力な電流が放電されることによって描かれる木の枝のような図形があり、これを最初に発見したドイツの物理学者の名前にちなんで“リヒテンベルグ図形”と呼ばれていることが判った。

その時の落雷は直撃雷にかなり近い誘導雷であったらしく、中部電力の技師の人によれば、あまりにも強力な電流では、自家用発電装置も作動しなくなってしまうそうである。病院にとつての停電がどれほど恐いものかを私は思い知らされたが、現在では多くの病院が以前から備えられている自家用発電装置に加えて太陽光発電やバッテリーなども準備され、フェールセーフの方向へとシフトしていつていると聞き及ぶ。

（上高井郡小布施町 信州口腔外科インプラントセンター 所長）